				1978							19				1976			75			974		19		1972		1971	1970			68	1967	年
10	9	8	8	7	6	6	5	3	1	11	6	4	3	10	6	3	11	3	12	10	9	9		4			4	7	1	6	3	11	月
17	19	20	17	4	17	16	23		18	20	30	26		5	9	25	10	20	18	11	25	6					1						日
教科教育総合研究会(月例)	教科教育総合研究会(月例)	『SCOPE VII』 発行	教科教育総合研究会(月例)	教科教育総合研究会(月例)	愛知教育大学大学院 設置	教科教育総合研究会(月例)	教科教育総合研究会(月例)	第2号』 発行 製料教育研究報告		『SCOPE VI』 発行	『SCOPE V』 発行	第13回教科教育センター会議	1号』 発行 数科教育研究報告	『SCOPE IV』 発行	ウム教科教育総合研究部門6月シンポジ	『SCOPE III』 発行	『SCOPE II』 発行	『SCOPE I』 発行	認 教科教育センター 設置案 教授会承	営委員会の合同委員会教科教育棟運教科教育研究協議会と教科教育棟運	出教科教育センター 設置案 教授会提	営委員会の合同委員会教科教育研究協議会と教科教育棟運	教科教育棟運営委員会	附属高等学校 開校	立大学附属校との共同研究体制の確	教科教育研究協議会	工学センター として設立教科教育棟構想の第4部門が、教育	教科教育センター 準備委員会	『教科教育通信 第3号』	教科教育通信	り 対 対 教 育 通 信 第 1 号 』	教科教育学教棟構想	出来事
「子供の絵と個性(表現のタイプについて)」(大野元三)「教科教育の共同研究について」(フリートーキング)	「VTRの活用、その2」(天野彰夫)「附属との共同研究の具体案について」(フリートーキング)	科教育センターSCOPE編集部	「教材としてのVTR」(吉田淳)「学部と附属の共同体制の研究について」(フリートーキング)	教科教育に関する授業について」(フリート―キング)		川洋一(豊田市立若林西小)「児童画の発達段階について」(田中英明(豊田市立童子山小)・宮「教科に関する総合的な研究」(フリートーキング)	「ビデオシステムの利用方法について」(吉田淳)		周辺をめぐって」/講演「教科と教育」(佐々登(愛知大学))各教科授業研究を中心とした研究発表/シンポジウム「各科教育学の				愛知教育大学教科教育センター	講演ノート(シンポジウム)、年度計画	蛯谷米司(広島大学)『教科教育学の体系化とその方法』	全国附属学校研究テーマ調査(中学)	全国附属学校研究テーマ調査(小学)	教科教育センター設立の経緯、抱負															大 容 等
										編集部教科教育センターSCOPE	編集部教科教育センターSCOPE			編集部教科教育センターSCOPE		編集部教科教育センターSCOPE	編集部教科教育センターSCOPE	編集部 教科教育センターSCOPE		委員長 大野元三		委員長 大野元三	委員長 大野元三	:	委員長 山本正一委員長 堀内敏	委員長 伊藤四三九	学長 伊藤郷平	委員長 山本喜三		1	医	学長 伊藤郷平	備考

		198	ĵ .						198								198	34						19	83					1982				1981		Ь.	1980		197			
8	6	5	2		2	8	7	6	!	_	_	2	2			7	7	6	5	2	2	9	6	6	5			12 11		7 6	3	2	10	1		4		7		5	3	11
1	26				13	1	5	27	- 1	29	- 1	19	13	244 #/L	10 + WL	16	10	26	16	24	23	20	28	15	11		8 2			9	20	16	23	25	/±	22	/± _	17	ф .	25	<i>/-/</i>	24
『SCOPE XV』 発行	夕— 運営連絡協議会 科6 1 年度 第 1 回 教科	ター研究員会議 料料電	ター運営連絡協議会	知60年度 第2	P記 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	『SCOPE XIV』 発行	ンター研究員会議昭和60年度 第2回 教科教育セ	ター 運営連絡協議会和60年度 第1回 教	研究員会議	年度 第	録目録の刊行	 	ンター研究員会議昭和59年度 第2回 教科教育セ	だより」に登載する書コーナー の利用状況	寄の贈点	貸出開始学校・中学校の全教科書公開・	O P E X III	ンター 運営連絡協議会 昭和59年度 第1回 教科教育セ	ンター研究員会議昭和59年度 第1回 教科教育セ	- 運営連絡協議会 58年度 第2回 教科教育	ター研究員会議和58年度 第3回	『SCOPE XII』 発行	ンター 運営連絡協議会昭和58年度 第1回 教科教育セ	ンター研究員会議 昭和58年度 第2回 教科教育セ	ンター 研究員会議 昭和58年度 第1回 教科教育セ	部会編成に組織改編	2 7 回 教科 和	回 教科教育センター回 教科教育センター	O P E XI	第24回 教科教育センター会議教科教育談話会 発足	『SCOPE X』 発行	第23回 教科教育センター会議	の実践と課題」 安藤シンポジウム「オープン・スクール 安藤	『SCOPE 区』 発行	続)カリキュラムの開発について」(継カリキュラムの開発について」(継	城教育大学 視察	続) カリキュラムの開発について」(継カリキュラムの開発について」(継「子どもの認識様式にもとづく総合	8 回 0		『SCOPE 畑』 発行	第3号』 発行 数科教育研究報告	「ア教科教育総合研究会(月例) リー 「教
4E #	ħ.					± € 5 ± € 5											· 经					65 W.				発部会(第4部会) 発部会(第1部会)/外材・教具研究開発部会(第3部会)/学習過程・評価研制会)/ カリキュラム研究開発部会(第			65 W		45 4h		(慧(東浦町立緒川小学校)	结果						45 44 44 A		、メリカの庶民生活―その美学的追求―」(後田忠勝)・トーキング)・トーキング)
編集部では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	斗女育 マンヌー らこ	◎新センター 長 永田靖章				編集部教科教育センターSCOPE							◎新センター 長 長谷川和				編集部 おりょう この PE					編集部 教科教育センターSCOPE			◎新センター長 伊藤敏行				編集部 お科教育センターSCOPE		編集部教科教育センターSCOPE			編集部教科教育センターSCOPE						編集部教科教育センターSCOPE		

																			教科	教育センター	-時代																		
1992										1991						19	90					1989						1988							1987				
6 5	5	2	2	2	2	7	6	6		3	3	2	2	7	6	6	3	3	2	10	7	6	6	3	2	7	6	5	2	2	11	10	8	6	5	2	2	1	1
19 30			15	13	12	31	18	4		10	9	27	19	31	22	5		14	16	11	25	23	5	17	21	20	21	13	16	9	20	9	1	9	19	19	12	28	27
格第 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村 村	引講座「小学交及資をとりまべー研究員会議	成1年度 高 団 女科女育 2研究集会 成3年度教員養成大学・学部等	官研究集会官研究集会	ター運営連絡協議会 平成3年度 第2回 教科教育セン	究員会議	『SCOPE XX』 発行	ター運営連絡協議会 平成3年度 第1回 教科教育セン	員会議 教科教育	実習に関する総合研究」	官研究集会平成2年度教員養成大学・学部等教	官研究集会平成2年度教員養成大学・学部等教	ター運営連絡協議会 平成2年度 第2回 教科教育セン	ター研究員会議 平成2年度 第2回 教科教育セン	『SCOPE X XX』	営年 連度 絡	ター研究員会議 平成2年度 第1回 教科教育セン	究」報告書 刊行 「教育実習の指導に関する総合的研	議会 教科教育	ター研究員会議 平成元年度 第2回教科教育セン	関する総合	『SCOPE X呱』 発行	ター運営連絡協議会 平成元年度 第1回 教科教育セン	ター研究員会議 ・ 教科教育セン平成元年度 第1回 教科教育セン	ンター 運営連絡協議会昭和63年度 第2回 教科教育セ	ター 研究員会議和63年度 第2回 教科教育	『SCOPE X垭』 発行	ンター運営連絡協議会 昭和63年度 第1回 教科教育セ	ンター 研究員会議昭和63年度 第1回 教科教育セ	ンター 運営連絡協議会昭和62年度 第2回 教科教育セ	ンター研究員会議昭和62年度 第3回 教科教育セ	ンター 研究員会議昭和62年度 第2回 教科教育セ	究会 教科教育センター	C O P E X VI 一 発行	ンター 運営連絡協議会昭和62年度 第1回 教科教育セ	ンター 研究員会議昭和62年度 第1回 教科教育セ	ンター 運営連絡協議会昭和61年度 第3回 教科教育セ	ター研究員会議和61年度 第3回 教	ンター 運営連絡協議会 (臨時)昭和61年度 第2回 教科教育セ	ンター 研究員会議 昭和61年度 第2回 教科教育セ
折出健二・永田靖章		しい生活科授業づくりをめざして」制作活動のあり方」/パネルディスカッション「子どもにとって望ま制作活動のあり方」/パネルディスカッション「子どもにとって望まれ究発表「探検活動のあり方」「遊び・研究発表「探検活動のあり方」「	え方」「生活科における教師の役割」「生活科のねらいと授業究協議Ⅱ「大学における生活科」/研究協議Ⅱ「子どもの実態			44.				「大学における生活科の授業」「生活科の指導と評価」	る指導と評価」とおれて小学校はどのように変わるか」「生活科におけンポジウム「生活科で小学校はどのように変わるか」「生活科における指導と評価」(中野重人/生活科担当調査官)、シー									関する研究 D 事前指導用ビデオ教材の制作と指導案作成の変容に関する研究 D 事前指導用ビデオ教材の制作と指導案作成の変容に育実習指導体制に関する先行研究の事例 C教育実習の実態と評価に有実習の手引き」等に関する分析 B教												「教科教育センターの歩みと将来への展望」体育教室 永田靖章「教科教育学の可能性を探る」教育学教室 折出健ニ							
						編集部教科教育センターSCOPE								編集部 教科教育センターSCOPE		◎新センター 長 川上昭吾					編集部教科教育センターSCOPE					編集部 教科教育センターSCOPE	◎新センター長 堀ノ内敏						編集部教科教育センターSCOPE						

					19	95									19												19	93												
2 1			7	6	6	5	5	1	1	11	11	8	6	5	5	5	3	3	2	2	11	10	9	9	9	9	8	6	5	2	2	2	2	1	11	10	9	8	7	6
15 23			5	24	10	25	25	30	23	12	12	19	20	31	14	14	6	5	14	4	12	15	12	12	11	11	20	21	18	13	12	5	3	30	28	31	26	31	10	27
ター研究員会議の教育の課題」 教科教育センの教育の課題」	料文 m z z x X X X X X X X X X X X X X X X X X	ます の さし フロイ しっ まえない	り方について考える」ンポジウム いじめ問題	価」その2 + 大学校生活科の指導と評 + 大学校生活科の指導と評 + 大学校生活科の指導と評 + 大学校生活科の指導と評 + 大学校生活科の指導と評 + 大学校生	価」その1	ター運営連絡協議会 平成7年度 第1回 教科教育セン	ター研究員会議 ・ 教科教育セン ・	ー運営連絡協議会成6年度 第2回 教科教育セ	ー研究員会議 教科教育セ	評価とおいて、おいては、これがでは、生活科の授業づくり	中心に」	『SCOPE XXIII』 発行	ター運営連絡協議会 平成6年度 第1回 教科教育セン	ター研究員会議 ・ 教科教育セン	を中心に」	に」自然との関わりに関する	官研究集会では、一学部等教を	官研究集会 常研究集会	科教育セン	一研究員会議一研究員会議お科教育セ	研究員会議科教育成5年度 第3回 教科教育	ター研究員会議 平成5年度 第2回 教科教育セン	と評価と評価と評価の授業づくり	中心に」	に関する授	心に」	『SCOPE XXⅡ』 発行	ター運営連絡協議会 平成5年度 第1回 教科教育セン	ター研究員会議平成5年度 第1回 教科教育セン	官研究集会 平成4年度教員養成大学・学部等教	官研究集会 中成4年度教員養成大学・学部等教 平成4年度教員養成大学・学部等教 平成4年度		成	的課題」 開講座「小学校教育をとりまく今	的課題」 開講座「小学校教育をとりまく今	的課題」 開講座「小学校教育をとりまく今	的課題」 開講座「小学校教育をとりまく今	XI 一 発	ついて)」	「小学校教育をとりまく今
講師:山極隆(富山大学)			基調講演 今津孝次郎	吉田淳、寺本潔、舩尾日出志	吉田淳、寺本潔、舩尾日出志					上記3名	魚住忠久				有田和正	川上昭吾	育学の研究課題」安彦忠彦第3.環境と教科教育学/第4.個性化と教科教育学/講演「教科教分科会 第1.国際化と教科教育学/第2.情報社会と教科教育学/分科会 第1.国際化と教科教育学/第2.情報社会と教科教育学/	学/第3.環境と教科教育学/第4.個性化と教科教育学彦/分科会・第1.国際化と教科教育学/第2.情報社会と教科教育基調講演「教科教育に求める今日の課題」東京学芸大学学長・蓮見音					上記3名	魚住忠久	有田和正	川 上昭 吾				研究協議皿「大学の生活科」	生活科」/講演会「楽しい生活科の授業をどうつくるか」研究協議I「これで良いのか生活科」/研究協議I「これで良いのか			中村よし子・鈴木眞雄	霜田一敏・丹羽晧夫	横山信幸・南曜子	遠西昭壽・柴田録治		飯島宗一(大学審議会特別委員/愛知県芸術文化センター 総長)	寺本潔・川上昭吾
		科					◎新センター 長 横山信幸					編集部 教科教育センターSCOPE															編集部教科教育センターSCOPE					◎新センター 長 丹羽晧夫						編集部教科教育センターSCOPE		

	1	999								1998								1997									1	1996				
10	7	5	3	2	1	12	12	10	6	4	3	2	1	12	11	10	9	7	3	3	2	1	12	8		6	6	6	5	4	2 2	2
19	1	10	5	20	26	8	1	19	1	28	25	4	31	18	11	25	12	8	24	24	27	29	7	5		15	8	1	13	23		.5
第3回研究員会議・研究会	第2回研究員会議・研究会	第1回研究員会議・研究会	第6回研究員会議・研究会(予定)	『SCOPEII No.2』発行	第5回研究員会議・研究会	第4回研究員会議・研究会	業参観附属岡崎小学校「くすのき学習」授	研究員会議・研究会	第2回研究員会議・研究会	第1回研究員会議・研究会	『SCOPEII No.1』発行	校教育が追い求めるものは?」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ンポジウム愛知教育大学フレンドシップ事業シ	もが育つ授業の創造』の合評会属名古屋中学校『豊かに生きる		環境教育研究会	第2回 教科教育研究分野研究会	第1回 教科教育研究分野研究会	『SCOPE XXVI』 発行	ター研究員会議 平成8年度 第2回 教科教育セン	ター運営連絡協議会 平成8年度 第2回 教科教育セン	題」について考じめシンポジウ	究所	『SCOPE XXV』 発行	考えるー」では、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	みをみんなで考える」生活科実践講座「生活科の抱える悩	みをみんなで考える」生活科実践講座「生活科の抱える悩	んなで考える」実践講座「生活科の抱える悩	ター運営連絡協議会平成8年度 第1回 教科教育セン	員会議 1回	各研究部会代表座談会―』教科教育センター 活性化のために一重営連絡協議会	年度 第
寺中学校 伊藤克己 3)SCOPEI「No・3」の原稿依頼学校 山本治代・名古屋市立鳴子台中学校 山下実・名古屋市立八王学校 山下実・名古屋市立八王の総合的な学習の時間」の実践例や取り組みの紹介 豊川市立御油小1)総合的学習に関するカリキュラムの開発・研究について 2)	改善等に関する研究・開発について」年度教育改善推進費による)(2)文部省「教員養成カリキュラムの1)総合学習についての大学・附属学校連携研究について(平成11	について 7)教科教育分野の改組について 5)大学院新授業科目について 6)備品算案 3)総合学習プロジェクトについて 4)類 4 の年度活動報告及び決算報告 2)平成11	旬)について 3)教科教育分野機関紙「SCOPEⅡ」No.2発刊(3月中理 3)教科教育分野機関紙「SCOPEⅡ」No.2発刊(3月中1)平成10年度まとめ 2)教科教育センターからの引継物品の整	待 	1)予算使途について 2)次年度分野選出運営委員について	的な 柴 田 録 習 ア	の5の3編集局」	報告と計画 3)予算の使途計画()プロジェクトの内容 長沼健(化学) 2)総合的な学習の視察	3)生きる力を育む保健体育の学習指導 永田靖章(体育)(生活科) 2)教育課程審議会答申について 吉田淳(化学)1)上越教育大学附属小学校の研究会(総合学習)報告 野田敦敬	ナーについての紹介 山田綾(家政学)がより、一ジェンダーと教育」セミのボランティア活動報告 鈴木眞雄(心理学) 4) 介護体験に関す学校の研究会(総合学習)報告 野田敦敬(生活科) 3) 琉球大学)) 指導要領の改訂についての情報交換 2)新潟県上越市大手町小学1)指導要領の改訂についての情報交換 2)新潟県上越市大手町小学1)指導要領の改訂についての情報交換 2)新潟県上越市大手町小学1)	教科教育研究の現状	木方子(院生)・石原雅海(附属名古屋中学校研究主任)・鈴平沢信幸/話題提供者 野田敦敬(生活科)・花井正樹(教育実践総講演「『生きる力』について考える」愛知県教育センター 経営研究部			表会の案内・専任教官の振替について ・研究費の使途計画について ・研究発	瀬戸川浩習の現状と今後について」文部省初中局高等学校課教育研究開発課長提案1「総合学習の在り方」教育学教室 寺西和子/提案2「総合学	研究開発学校の紹介 ・教官振替のルールについてセンターの部屋割と名称について ・教官振替のルールについて	について・教科教育センターが申請した特定研究 ・教科教育研究分野の運営・教科教育センターが申請した特定研究 ・教科教育研究分野の運営・韓国の初等教育の教科・教科書の紹介(韓国:慶南大学 南先生)					における個性化・個別化の実態」(柴田録治)における個別化・個性化の現状(川上昭吾)/「日本の初等数学教育「初等教員養成及び任用制度」(学長)仲井豊)/「日本の初等教育		講演者・刈谷依佐美中学校校務主任)・鈴木眞雄大学院生・養護教諭)・澤木良仁(数学教室3年生)・伊藤毅(基調検山信幸・柴田秀美(附属高等学校教諭)・狩野美和(養護教育専攻	吉田淳	寺本潔	土屋武士			横山信幸・子安潤・岡出美則・寺本潔・清水廣・吉田淳	
ピザとピールの懇親会	ピザとビールの懇親会	ピザとビールの懇親会		沼健 四國委員 鈴木眞雄・長野 運営委員 鈴木眞雄・長					ピザとビー ルの懇親会	ピザとビールの懇親会	沼健 野 運営委員 鈴木眞雄·長 編集責任者 教科教育研究分							育研究分野教育実践総合センター 教科教	編集部 おこり との PE					編集部 教科教育センターSCOPE						◎新センター長 鈴木眞雄		

								教育実践総合センタ	女一教科教	育研究分	野時代																			
			2003					20	02							2001									2000					
11	11	7	6	5	3	2	12	10	9	6	5	3	12	11	10	9	6	5	3	2	1	11	10	7	7	4	3	3	1	12
27	5	2	11	9	10	3	19	2	20	18	10	20	18	14	30	28	20	8	1	21	23	29	10	28	13	19	1	1		22
第5回研究会	第4回研究会	第3回研究会	第2回研究会	第1回研究会	『SCOPEII NO.6』発行	第6回研究会	第5回研究会	第4回研究会	第3回研究会	第2回研究会	第1回研究会	『SCOPEII No.5』発行	第6回研究会	第5回研究会	第4回研究会	第3回研究会	第2回研究会	第1回研究会	『SCOPEII No.4』発行	第6回研究員会議・研究会	第5回研究員会議・研究会	第4回研究員会議・研究会	第3回研究員会議・研究会	(研究員8名参加)		第1回研究員会議・研究会	『SCOPEII NO.3』発行		5回研究員会議・研究会	第4回研究員会議・研究会
える」 レポーター:附属幼稚園 水谷幸子 飯田恭子) 付属幼稚園との連携研究会「幼児期の数と量にかかわる体験を考	野田正幸 研究協議 情報の共有と発信」 授業者:附属高等効果的な活用 第2節 情報の共有と発信」 授業者:附属高等単校との連携研究会 研究授業 情報A「第2章 情	2)附属学校園との連携研究会科教育で伸ばしたいカ」 レポー	テングによる授業) ・ で第1 ・ では、	画1)平成14年度活動報告および会計報告 2)平成15年度活動計	考える 特集Ⅱ:	「国語教育からの提言」 - リポーター:国語教育講座 佐藤洋一1)学力についての研究会Ⅳ - レポーター:国語教育講座 佐藤洋一	度版の作成について 3)「SCOPEI」No、6の発行のいて 4)「学校教育支援データベース」の活用状況と2ののは、4)「学校教育支援データベース」の活用状況と2のでは、4)「学力についての研究会Ⅲ 「今、求められる学力研究とは、)学力についての研究会Ⅲ 「今、求められる学力研究とは、)学力についての研究会Ⅲ 「今、求められる学力研究とい	田篤史・蒔苗直道 田篤史・蒔苗直道 の場合 「	提言」 「理科教育からの提言」/数学教育講座 山田篤史「数学教育からの1)学力についての研究会I レポーター:理科教育講座 遠西昭壽1)学力についての研究会I レポーター	の提言」「保健体育教育からの提言」/理科教育講座 吉田淳「理科教育から「保健体育教育からの提言」/理科教育講座 吉田淳「理科教育から1)学力についての研究会I レポーター :保健体育講座 森勇示	1)平成13年度活動報告及び決算報告 2)平成14年度活動計画	特集Ⅱ:本稿の総合的学習特集Ⅱ:附属学校・園との連携研究会	計画について 4)学校教育支援データベースについて告と今後の取り組みについて 3)「SCOPEI」No.5の発行1)学力についての研究会Ⅲ 2)附属学校・園との連携研究会の報	校 土方宗広/学校教育講座 寺西和子/生活科教育講座 野田敦敬どもの自己教育力を育む評価のあり方」 パネラー:附属名古屋中学1)附属名古屋中学校との連携研究会 パネルディスカッション「子1)附属名古屋中学校との連携研究会 パネルディスカッション「子	篤史 附属高校 野田正幸/講師:数学教育講座 清水廣・飯島康之・山田附属高校 野田正幸/講師:数学教育講座 清水廣・飯島康之・山田1)附属高校との連携研究会 授業研究会「数学A」数列 授業者:	科に期待される学び」 2)についての研究会Ⅱ レポー	学教育講座 山田篤史「算数・数学における学力観の変遷」志「学力問題に関してーカリキュラム論、生活科の視点から―」/数1)学力についての研究会I レポーター:生活科教育講座 中野真	報告 2)総合的学習に関するカリキュラムの開発についての及び予算案 3)総合的学習に関するカリキュラムの開発についての1)平成13年度活動計画	特集:我が校の総合的学習	度の活動の反省と来年度の計画について1)総合的学衆に関するカリキュラムの開発研究について(2)今年1)総合的学衆に関するカリキュラムの開発研究について(2)今年	科教育等電話相談事業につい科教育研究分野の今後につい	にキて保	在り方について 2)新しい教育課程における教科教育の1)大学院の改革について 2)新しい教育課程における教科教育の	小学校、中学校、高等学校、教員養成大学を各1校ずつ視察	ついての検討1) 吉田淳先生の在外派遣報告 2)総合的学習の問題点、疑問点に1)吉田淳先生の在外派遣報告 2)総合的学習の問題点、疑問点に	報告 4)総合的学習データベース化についての経過報告 及び予算案 3)琉球大学附属教育実践センター及び附属小学校視察1)平成11年度活動報告及び決算報告 2)平成12年度活動計画	総合的学習についての考え方や実践例	キュラムの開発・研)「総合的学習に関するカリキュラムの開発・研究」について集について	学改革推進等経費の配分について(3)SCOPEI「No.3」の1)教科教育研究分野専任教官の採用について(2)平成11年度大
					野 平賀伸夫 編集責任者 教科教育研究分							野 運営委員 野田敦敬編集責任者 教科教育研究分							野 代表 吉田淳編集責任者 教科教育研究分				寿司「和」にて懇親会		ピザとビールの懇親会		川秀俊 野田敦敬・宮野 運営委員 野田敦敬・宮			

	育組織の再編・教職大学院・博士課程の設置	21 第 4 回 研究	
	附属共同	6 14 第 3 回 研究	
	敬)と意見交換中教審「児童生徒の学習評価の在り方について」の分析報告(野田敦中教審「児童生徒の学習評価の在り方について」の分析報告(野田敦	2010 5 19 第2 回研究会	
教科教育部門へ改組 一 一 会員養成開発センター	平成21年度活動報告及び平成22年度の役割分担と年間計画の決定	4 21 第 1 回研究会	
彦屋武志美術教育講座 松集責任者 社会科教育講	特集1『先生たちの工夫』 特集2『附属学校保護者のねがい』	3 15 S C O P E II N o	
ンター)養成カリキュラム開発研究セ芸田康之(東京学芸大学教員	教育改革と教科教育「教員養成系大学のあり方を中心に「	1 27 教科教育研究会	
聖子(社会科教育講	判決教材を活用した人権教育	教科教育研究	
川秀俊	フィンランドのものづくり教育	28 教 科	
術教育講座)	フィンランドの教育について	10 28 教科教育研究会	
博文(国語教育	どもたち』を読む――――――――――――――――――――――――――――――――――――	2009 9 30 教科教育研究会	
平野俊英(理解教育講座)	科教育の課題を探る― 教員養成スタンダードについて -	5 27 教科教育研究会	
森勇示 (保健体育講座)	の観点と教科内容―	教科教育研究	
船尾日出志 社会科教育講座	「思い出に残る先生」	3 13 『 S C O P E II N o . 1 2 』 発行	
	O y a m a · E l i n a M a r k e t t a 先生	20 6 13 講演会「フィンランドの教育(社	
載なし 戦なし ※研究会報告の掲編集責任者 生活科教育講座	各教科等における言語能力もしくは言語活動	3 14 S C C O P E II N O	
	ほか川上昭吾・遠西昭壽・石田博幸・後藤ひとみ・佐々木徹郎・森勇示、川上昭吾・遠西昭壽・石田博幸・後藤ひとみ・佐々木徹郎・森勇示、	20 11 22 「犬山の教育」を視察する	
野田敦敬 生活科教育講座	学習指導要領改訂の方向性への意見	07 3 20 S C C O P E II N O 1 0	
	田博美(養護教育講座)「看護科教育法について」	第 6 回 研	
	尾日出志「教員養成を意識した専	25 第 5 回研究	
	城市立錦町小学校)、木村博一(広島大学大学院)、市川正孝(安川純(上越教育大学)、木村博一(広島大学大学院)、市川正孝(安川・(上越教育大学)、西代にどのように伝達するのか』五十嵐司朗(愛西市佐屋小学校)、 西公開シンポジウム「わたしの授業分析・授業研究、その成果を後継世公開シンポジウム「わたしの授業分析・授業研究、その成果を後継世	9 16 第 4 回研究会	
	科教育の授業を行っています」中野真志(生活科教育講座)「わたしはこんな授業ビデオを使って教中野真志(生活科教育講座)「わたしはこんな授業ビデオを使って教	2000 7 24 第3回研究会	
	育の授業を行っています」がおしはこんな授業ビデオを対和雄(養護教育講座)「わたしはこんな授業ビデオを	6 9 第2回研究会	
	科教育の授	5 22 第 1 回研究会	
記載がなくなる 野 平賀伸夫 ※編集後記の野 平賀伸夫 ※編集後記の		3 10 S C C O P E II N O . 9 9 单 発行	
	「数学教育からの提言」 佐藤洋一「国語教育からの提言」教科教育研究会「習熟度をどのようにとらえるか」 提案 清水廣	12 7 第6回研究会	
	理解教育」(第1学年) 研究授業2 総合的な学習の時間「韓国聞を読もう」(第2学年) 研究授業2 総合的な学習の時間「新附属高等学校との連携研究会 研究授業1 総合的な学習の時間「新	10 27 第5回研究会	
	大(安田女子日的課題とれ	10 22 第 4 回研究会	
	Duisburg Essenn大学) 講演者:Heinz Steinbring(ドイツ activity by common. Systematic efflections of their thaching activity by common. Systematic Systematic を持つしている。 数学教育講演会 講演題目 How Teachers could	9 15 第 3 回研究会	
	よる情報の検索」(第1学年) 授業者:野田正幸(附属高等学校)附属高等学校との連携研究会 研究授業 情報A「インターネットに	7 8 第 2 回研究会	
	平成16年度活動報告および会計報告 平成17年度活動計画	7 4 第1回研究会	
野 平賀伸夫編集責任者 教科教育研究分	特集:大学と学校園との連携研究	3 10 S C O P E II N O . 8 M 発行	
	協議 1 現代世界と日本」 授業者:附属高等学校 小笠原敬一 研究年)「現代世界と日本」 授業者:附属高等学校 小笠原敬一 研究 授業 選択政治経済(第3学1) 附属高等学校との連携研究会 研究授業 選択政治経済(第3学	10 27 第5回研究会	
	る体験を考える」 レポーター:附属幼稚園 水谷幸子 廣田邦子1)附属幼稚園との連携研究会 研究協議「幼児期の数と量にかかわ	9 24 第 4 回研究会	
	報の共有」 授業者:附属高等学校 野田正附属高等学校との連携研究会 研究授業 情	2000· 7 14 第3回研究会	
	櫛田敏宏 刈谷市社会福祉協議会 佐々木孝 研究協議1学年)「ポランティア活動って何だろう」 授業者:附属高等学校1)附属高等学校との連携研究会 研究授業 ホームルーム活動(第1)	4 6 25 第2回研究会	
	画 1) 平成15年度活動報告および会計報告 2) 平成16年度活動計	6 16 第1回研究会	
野 平賀伸夫編集責任者 教科教育研究分	投稿 特集I:学力を考える 特集I:附属学校・園との連携研究会 自由	3 10 S C O P E II N o · 7 》発行	

																			耈	文育創造開	見発機	構	大学教	攸育・	教員養成	開発も	ュンタ	一 孝	教科教	教育部門時(代														
2	015	T					20	14										20	13				Т					20	12									2011							
3	2 1	12	2	9	8	7	6	5		3	2	1	11	10	9		7 6	5	4	3	2	! 1	L	11	10	9	7	6	5	4	3	2	1	11	10	9	7	6	5	4	3	2	1	11 1	9
1 2	26 21	17	7	24	6	30 1	.8	21		1 2	26	29	27	23	18	3 3	31 1	7 22	17	1	2	7 2	3	28	24	29	25	20	23	18	1	8	25	30	19	28	20	20	19	20	1	9	26	17 2	29
S 1	月例研究会	例 研 究	J F S	研 究	例	例 研究 3	月列研究会	月例研究会		S (2)	例 研 究	月例研究会	月例研究会	月例研究会	月伊研究会] {} } } }	月列研究会	例 研究	月例研究会	『SCOPEIII No.3』発行	月例研究会	·	M F E	月例研究会	月例研究会	月例研究会	月例研究会	例研究	月例研究会	月例研究会	『SCOPEⅢ No.2』発行	第9回研究会	第8回研究会	第7回研究会	第6回研究会	第5回研究会	第4回研究会(台風のため中止)	第3回研究会	第2回研究会	第1回研究会	『SCOPEⅢ No.1』発行	第9回研究会	8回研究	第7回研究会	5 回研究
特集教	情報交換会鈴木一成(体育教育講座)より「体育教師のやりがい」の話題提供	、	部征尊(技術教育講座)(信州ブヴ)	(言州大学)	学附属	報交換会	大学・付属共司研究会弋長者 66 71 部門の研究会を司寺開催	入、教科学の研究協力、その他の決定(②教育実習の改革について属共同研究会報告書の作成、機構紀要の編集員、教科書の整備と購平成26年度の役割分担の計画と運営、SCOPEⅢの編集、大学附	につけさせるためにとのような取り組みをしているの	ちょう はい	年 譲	、尾 義日	いて報告、議論いて報告、議論の主免教育実習の事前指導につ有働裕(国語教育講座)より、今年度の主免教育実習の事前指導につ	の意義」のワークショップの意義」のワークショップの意義」のワークショップを指針にあらわれる。オノマトペッの役割とそれが特別できまれている。	木もを(烏河女育舞座)にリ「ァートゲームを告月)に監察症が学名誉教授)	演「デザイン	おから では でき かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	の様は、「「「「「「」」」」。「「「」」」」を 「「」」」。「「」」」を 「「」」。「「」」。	年度の例会の内容および進め方、当面の日程についての決学研究部門との連携、講演会ないしシンポジウムの計画と一切究会報告書の作成、機構紀要の編集員、教科書の整備と、大会年度の任務分担の計画と運営、SCOPE皿の編集、大会年度の任務分担の計画と運営、SCOPE皿の編集、大	特集 教育実習に期待すること	σ,	三を) ではこて三を) ブリンをす。 青みをぬ。役割」の報告	川誠司(国語教育講座)より「国定期国語教科書における写真教	育関連講義で、学生に何を学ばせ	員・修士課程修了教員の育ちの実態-」に関する話題提供能力の関係に関する調査(中間報告)— 聞き取り調査による学部卒教生嶌亜樹子先生・首藤貴子先生より「教員養成キャリアと教員の資質	に贈る言葉(そして、若手教員への助言)」講演 有田和正(東北福祉大学特任教授)「教師を目指す学生・院生講演	立にて情報交換会	- 附属共同研究会代表者会と部門の研究会を同時開催	育実習研究部門と合同実施 本学の教育実習の改	入、教科学の研究協力、その他の決定 ②教育実習の改革について附属共同研究会報告書の作成、機構紀要の編集員、教科書の整備と購①平成24年度の役割分担の計画と運営、SCOPEⅢの編集、大学①平成24年度の役割分担の計画と運営、SCOPEⅢの編集、大学	特集 中学校学習指導要領完全実施で思うこと	今年度の反省と次年度の方向を検討	た;padを活用した授業的島康之(数学教育講座)の話題提供。附属名古屋中学校等と連携し	してのディスコース分析」の発表「授業分析の一視点と究」、寺田直樹(数学教育専攻・学生)の発表「授業分析の一視点と佐々木徹郎(数学教育講座)の話題提供「数学教育における授業研	ローチの援用による体育の授業分析」森勇示(保健体育講座)の話題提供「グラウンデッドセオリーアプ	大学)		ベース化について議論「大学附属共同研究会」代表者会/教育実習時の学習指導案のデータ	野弘幸(生活科教育講座)より話題提供	平成22年度活動報告及び平成23年度の役割分担と年間計画の決定	特集 小学校学習指導要領完全実施で思うこと	今年度の反省と次年度の方向を検討	田浩平(養護教育講座)の話題提	鹿聖公(理科教育講廟裕幸(社会科教育	新生の日本では、1952年の1952年 1952年 1952年
※編集責任者名なし									本昭彦 杉林英	公、召逐、 彡 木色 逻編集責任者 美術教育講座										※ 以 後	集責任者 美術敗育講										舩尾日出志 ※編集後記あり編集責任者 社会科教育講座										野田敦敬 編集責任者 生活科教育講座				